

みんなの 町議会

第24号

平成22年10月15日

 神石高原町



油木っ子よさこいソーラン (油木小学校・保育所合同運動会)

■全会計を黒字で繰越 (21年度決算認定)	2
■源流の里維持・再生事業の今後は (決算質疑)	4
■かがやきネット (CATV) 運営基金造成	7
■ありゃあどうなった? (新規就農者支援事業)	12
■小学校の統合の見直しを (一般質問)	14
■豊松ドングリーズ (元気なグループ紹介)	18

黒字で繰越

前年度比8%(11億9,066万円)の増!

平成21年度決算を認定

9月定例会は、9月9日から、22日まで開かれまし
た。地方財政の充実・強化を
求める意見書など議員発議
2件を採択。

今回の定例会(第7回)
では、平成21年度一般会計
ほか各特別会計、今期初の
病院事業会計の決算を含む
11会計全てを認定。また、
平成22年度一般会計・特別
会計補正予算(9月補正)、
神石高原町過疎地域自立促
進計画の策定など12議案を
原案可決。

今回提案された条例改正
案のうち議案第144号神
石高原町高齢者生活福祉セ
ンター設置管理条例の一部
改正については、動議によ
り原案の一部を修正し、可
決しました。

一般質問では、教育行政
について5人の議員が当面
の課題をたえました。

9月定例会

6億655万円(全会計)の繰越

一般会計をはじめとする各会
計の歳入歳出決算の認定につい
ては、監査委員の意見書をそえ
て提案されました。平成21年度
の予算について、適正に執行され、
目的を達成できたかを主眼に慎
重に審議し、本会議にて採決の
結果、全員の賛成で各会計の歳
入歳出決算を認定しました。

決算総額は、歳入で168億
1715万円、歳出で161億

6144万円となりました。平
成20年度の決算と比べて歳出で
11億9066万円の増加(8%)
となっています。次年度に繰越し
執行する事となった4917万
円(繰越明許費)を除き、6億6
55万円が平成22年度会計へ繰
り越されました。

各会計の歳入歳出決算の状況
は、表のとおりです。

21年度決算認定における賛成討論

総務文教常任委員会 委員長 村上 克朗

平成21年度神石高原町一般会計歳入歳出決算
認定について賛成の立場で討論を行ないます。

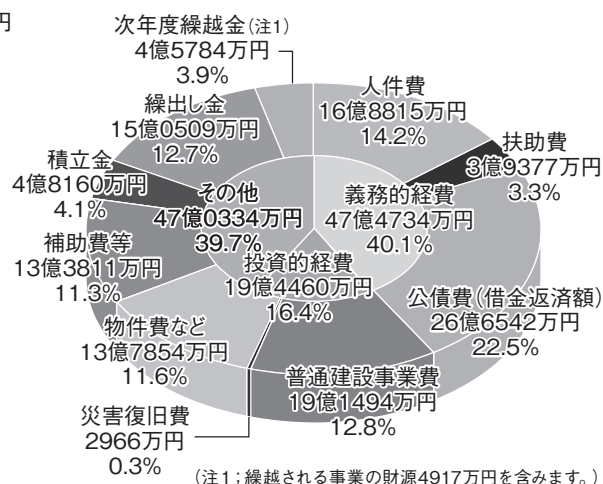
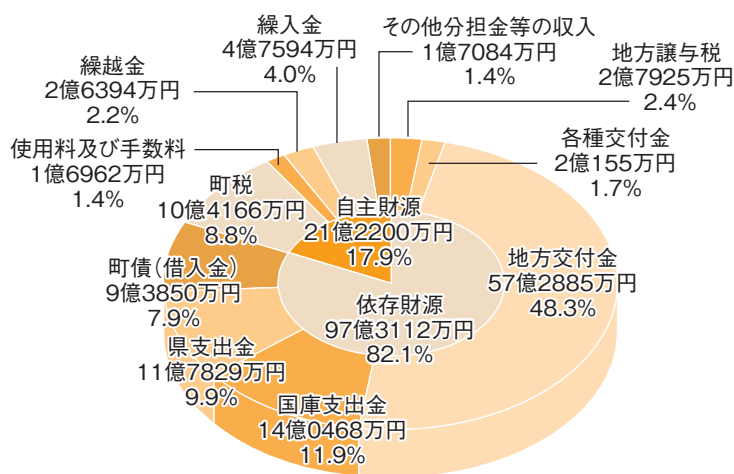
人と自然が輝く神石高原町の実現のために、
特に、以下について神石高原町議会として決算
に対する意見・要望を申し上げ、議案第130
号平成21年度神石高原町一般会計歳入歳出決算
認定における賛成討論と致します。

- 1) この度の神石高原町監査委員による監査
意見を十分に尊重され、従来にも増して
英知を結集し、効果的、効率的な行財政
運営を行うこと
- 2) 決算審議に於いて、「主要施策の成果に
関する報告書」の中で各課により各種事
業の課題として取り上げられた事項につ
いて、特に税等滞納処理、公民館活動、
源流の里維持再生事業については、審議
の中で議員の意見・指摘を十分に参酌
のうえ、解決に向けて、具体的・積極的
な対応を行うこと
- 3) 引き続き財政健全化に向けて改善工夫さ
れること

全会計を

平成21年度 一般会計 決算比較表

総額 113億9527万6千円



歳入 合計: 118億5312万円

歳出 合計: 113億9528万円

決算総額168億1715万円

平成21年度 収支決算総括表

(万円未満四捨五入)

会計名	歳入	歳出	繰越事業	差引残高	
一般会計	118億5312万円	113億9528万円	4917万円	4億867万円	
特別会計	国民健康保険	12億7005万円	11億9639万円		7366万円
	後期高齢者医療	3億7543万円	3億3373万円		4170万円
	老人保健	5396万円	5051万円		345万円
	介護保険	17億4520万円	16億9267万円		5253万円
	簡易水道事業	7億2731万円	7億1285万円		1446万円
	飲料水供給施設事業	3210万円	2873万円		337万円
	農業集落排水事業	2億3549万円	2億2679万円		870万円
	総合開発事業	2億5695万円	2億5695万円		
	分収育林事業	12万円	12万円		
病院事業会計	2億6742万円	2億6742万円			
合計	168億1715万円	161億6144万円	4917万円	6億654万円	

平成21年度決算審査意見書

審査に付された各会計関係諸帳簿は、関係法令に準拠して作成されており、その計数は正確に処理されているものと認められた。審査を通じて気付いた次の事項について検討いただき、町政執行に反映されることを強く望む。

- 1、税等滞納処理について
不納欠損額が大幅に増加しているが、その処理にいたるまでの取組みに格段の努力を望む。滞納者の固定化が顕著である。収納率アップに努められたい。
- 2、出資団体について
服務規程等諸規定、決算諸表等の整備・指導及び助言を望む。
- 3、財政支援団体について
事業効果の検証と補助金の適正化を図られたい。
- 4、公文書の整理及び保管について
一部適正に処理されていない。文書事務取扱規程に従い、速やかな整理を望む。

神石高原町監査委員
瀬岡尾征爾 志

決算審議の主な質疑

総務課

火災報知器の設置

橋本議員 町内において、尊い命が失われる痛ましい建物火災が発生した。火災報知器の購入補助をしているが、設置の啓発をすることにより事業効果があるのでは。

総務課長 設置については未確認だ。今後消防団などと連携し設置の啓発に努めていく。

小林議員 消防自動車は20年で無条件更新だ。本格稼働せず更新に至る自動車もある。団員構成も見込んだ装備も必要だ。検討すべきでは。

総務課長 団員数は、毎年10人位減少している。福山市などの更新間隔も20年である。

佐伯議員 新たな交

通体系になり1年が経過した。路線により利用に大きな開きがある。事業効果と住民要望への対応は。

総務課長 通学や通院に利便性が向上した。要望や見直しについては地域公共交通協議会で検討する。

財政課

小川議員 公用車5台購入はエコカーなのか。

財政課長 2009年度環境対応のエコカーである。

財政基盤今後の見通し

小林議員 本町の財政数値は、県内でも優秀な改善率となっているが、国・県の経済対策支援の影響が大きく、財政基盤

の確立とは思えない。今後の見通しは。

財政課長 来年度以降の補助事業や、普通交付税地方財政対策費の継続算入など、現状では不透明である。今後の政局へ併せながらの財政運営が健全化につながると考えている。

松本議員 21年度決算は、主要財政指数は好転し、財政基盤の確立に向け努力した結果と評価する。

決算の評価は、数字ばかりでなく、住民サービスがどのように向上し、住みやすい町づくりに向けて、どう取り組んだのかが問題。今後の課題は。副町長 限られた予算をどのように使うか、町民・議会の声を聞きながら取り組んだ。町単独事業に10億円を投資し、新規事業、産業の振興、建設事

業などに取り組んだ。

松本議員 本町の標準財政規模は72億円である。決算額は2倍近い額となっている。本町は、2倍近い仕事をして、住民サービスも2倍近く行っている事にもなる。職員もかなり無理をしているのではないか。

副町長 国の財政も厳しくなっている。現在のサービスが維持できるかが不安。

中山間地の特性を活かし、住みやすい町づくりに取り組む。

職員もかなり無理をしている職場もある。機構の見直しなども検討する。

住民課

滞納処理の具体策は

横尾議員 滞納処理に係るアドバイザー制度の効果は。また収納率アップの具体策は。

住民課長 滞納処理について法的措置ができるようになったこと。また、滞納は許されないことだという意識が職員に浸透してきた。

具体策は、督促の電話や夜の訪問。

片山議員 工場等設置奨励事業で、カイハラトラスト、内田鉄工の3社へ合計3550万円を



豊松保・小運動会

支出しているが、3社の固定資産税との相殺額は。住民課長 税と奨励補助金を相殺するべきものではないが、あえて相殺すると、約1億2100万円の収入増となっている。

まちづくり推進課

今後の源流の里事業は

寄定議員 源流の里維持・再生事業はスタートしたばかりで、集落支援員のサポートなしでは困難である。集落支援員は継続すべきでは。

理事 「地域サポート人ネットワーク」を本町で主催。

地域興し協力隊など人的支援をするか、集落支援員を継続するのか22年度中に方針を出したい。

村上議員 源流の里維持・再生事業実施応援団の掘り起こしに、49集落の内30集落で目途がつき、一定の方向を見出したとあるが、今後の支援

員の方針は。
理事 昨年は調査年で、今年は「源流の里つうしん」でPRし、今後支援員を置くか、人を集中して送りこむか、本町で10月に開催される「地域サポート人ネットワーク」全国協議会があり、今年度中に結論を出す。

佐伯議員 源流の里維持・再生事業で、方向性の出ていない集落の今後の対策は。
理事 小規模で高齢化の進んだ集落が多く、今後は自治振興会とも連携をとりながら、出来ることから取り組みたい。

観光施設をどうする
木野山議員 観光施設として活かしたい「ぎのこの森公園」など、施設の指定管理を再考すべきでは。
理事 それぞれの観光施設は有効利用が重要なので、点ではなく線で繋げたい。

佐伯議員 自然公園の利用者が減少している。

まるごと市場など、アントナショップを活用し、もっとPRすべきではないか。
理事 自然公園全体の連携を考えながら、まるごと市場や182ステーションなどでPRや観光案内もしていきたい。

産業課

今後の新規就農支援は

藤田議員 新規就農者支援事業において農業公社の従業員も該当するのか。
産業課長 町内での就農定住と言う意味合いもあり該当する。
藤田議員 3年目からの支援は。

産業課長 農地購入補助、農地賃借援助のほか、必要に応じた新たな支援策も考えたい。

藤田議員 有害鳥獣駆除事業において、捕獲奨励金を増額しては。
産業課長 財政面もあり、増額は困難。

寄定議員 ①地籍調査の進捗率に各地区で大きな差が出たのはなぜか。
 ②このままのペースでは完了まで20年もかかる。先の国会で国土調査法が改正され、民間委託が可能となり、財政面も特別交付税措置がされる。迅速な推進で完了を早めるべきでは。

産業課長 ①地籍調査の進捗率は、三和地区96%、油木地区65%、豊松地区62%、神石地区57%である。
 地籍調査の開始時期、国・県の補助、調査人員などの差が影響している。
 ②自治振興会や班単位、山の持ち主同士で境界確

建設課

認を実施する場合は、杭やテープなどを提供し推進を図っていきたい。国の事業も検討し迅速な推進に取り組みたい。

小川議員 井関定住団地は工期内に完了したのか。工事発注件数が複数で、工事車両による国道など進入路への土砂飛散が多く交通警備員もおらず対応が出来ていない。
建設課長 工期内に完了した。
 土砂飛散防止対策を講

じたが対応しきれず迷惑をかけた。

片山議員 一般県道三和油木線(高蓋地内)は、県道整備移譲事業となっている。小島ハイパス1800mと帝釈峡井関線の河森橋、ヤンマー農機下の歩道設置に限定して、国県から町へ移譲を受ければ、事業が早く進むのでは。
建設課長 主要地方道吉舎油木線・一般県道帝釈峡井関線は、主要な県道なので、移譲対象路線となっていない。

佐伯議員 農道野上線の改良工事が、毎年ライスセンターの稼働期間と重なり、糞の搬入に不便をきたしている。時期をずらす事は出来ないのか。
建設課長 今年度が最終年で事業量が多く、工期の変更は出来ない。

福祉課

寄定議員 在宅介護激励手当5000円は安い。増額すべきでは。
福祉課長 在宅介護激励手当と介護用品支給事業を併せて実施している。財源の問題もあり当面、現行で継続したい。

村上議員 社会福祉法人への委託料に差がある。基準額は。
福祉課長 支援員と入居者の数が違い、3月末決算で余剰金が出たら返還してもらい、それ以上の経費は業者負担となる。

村上議員 入居者の料金も委託施設により違いがある。不平等では。
福祉課長 福祉課で精査し対応する。

横尾議員 生活保護家庭への就労支援は。
福祉課長 ハローワークと就労に向けての協議会を設置し、就労支援に取り組んでいる。



どんぐり幼稚園運動会

保健課

子宮頸がん対策は

寄定議員 ①肺炎球菌・細菌性髄膜炎・子宮頸がんなど、現在実施以外の予防接種へ公費助成をすべきでは。

②女性特有のガン検診の無料クーポン配布の成果と今後の取り組みは。

③重篤な白血病を引き起こすHTLV-1（ヒト細胞白血病ウイルス1型）は授乳による母子感染が主な感染原因だ。周知を図り検診に加えるべきでは。

保健課長 ①時代に即応した法定外の予防接種も大事になってくる。成人肺炎球菌、子宮頸がん、おたふく風邪、水痘などの予防接種も進めていく。②子宮頸がん・乳がんの検診受診率は県内でトップであった。今後も継続するよう取り組む。③国の動向を勘案し、検討する。

小川議員 介護施設など、消防法で改善すべ

き施設はないのか。
保健課長 平成21年度でスプリンクラーを設置した。現段階では全ての施設で消防法をクリアしている。

環境衛生課

小川議員 来見地区統合簡易水道時安地区整備事業で計画件数92件に対し、給水件数42件と給水件数が極端に少ないがなぜか。工事は工期内に完成したのか。

環境衛生課長 既存の水源があるなど、個々の理由により順次給水開始となっている。本年8月末現在では時安地区計画件数137件中（既存施設・別荘含む）給水件数は100件で73%である。引き続き加入率アップに努める。工事は完成したが圧力検査が計画どおりに出来なかった。

木野山議員 粗大ご

ミ破砕機導入の事業効果は。今後のゴミ処理への取組みは。

環境衛生課長 4〜8月で170件25・5トを処理した。RDFの品質保持をしながら拡大したい。

病院事業室

町立病院の決算は

木野山議員 町立病院の運営状況は。平成18年度と比べるとかなりの落ち込みだが、また、機器の負担は。

病院事業室長 平成20年度と比べるとかなり上がっており指定管理とした効果は上がっている。町からの交付金により、帳簿上は1700万円の赤字であるが、平成22年度で精算する。200万円以上の機械器具の減価償却費相当額は負担金として頂く。

片山議員 入院患者は増えたが、外来患者が1278人減少した原因

は。

病院事業室長 外科・整形外科の診療日数の減少。

片山議員 経営の実績で県立時は3〜4億の赤字を出していたが、町立病院の赤字は5800万円との話を聞いたが。

病院事業室長 この議会では町の病院事業会計について報告し、審議を頂いているが、町立病院（指定管理者）の決算については、病院の収益8億2500万円、費用8億800万円、利益は1700万円であるが、町の交付金により、実質は5863万円の赤字となっている。

教育委員会

橋本議員 小中学校

木製机・イス整備事業について、全て町有林「悠久の森」の間伐材を使用したのか。

教育課長 ほとんど成木引きを行い机・イスを製

作した。

橋本議員 平成7年に豊松村制百周年記念事業で「悠久の森」として整備した。

石碑には、財政・育林上必要なとき間伐する。また、「いやしの森」として万人に愛され森林浴の聖地として整備すべきと刻まれているが、神石高原町になり、この思いは引き継がれているのか。副町長 思いは引き継いでいる。町の財産として、有効に活用し整備を進めたい。

木野山議員 「安心子ども基金」での図書購入

定基準は。

教育課長 全国学校図書館協議会図書選定基準に従い、併せて「読み聞かせの会」の意見も参考にした。

木野山議員 学校適正配置事業で「町の関与について見直す余地はあり」となっているが、職務権限に関しての事か。教育長 財政的理由が主な理由だが、職務権限についても考えたい。

横尾議員 不登校の児童・生徒への対応は。教育課長 地域子育てセンターと連携し、スクールカウンセラーと保護者を交えて対応している。



神石小学校教育研究会（6年生）

こんなことが決まりました

神石高原町 過疎地域自立促進計画の策定

全会一致

過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、「神石高原町過疎地域自立促進計画」を策定。神石高原町長期総合計画を基本とし、平成22年から平成27年度までの6年間の計画で、過疎法の一部改正により「ソフト事業」を含めた総額173億400万円を計画。

辺地に係る公的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定

古川辺地において主要地方道新市七曲西城線へ連結した町道仁後線整備に2億5061万円を計画。(平成22年度から平成24年度までの3年間)

条例制定

神石高原かがやきネット 管理運営基金を創設

全会一致

平成21年度から整備した神石高原町地域情報通信基盤整備事業の施設改修及び管理運営に必要な経費に充てるための基金。

かがやきネット管理運営基金

経費項目	金額
既存施設撤去費	1億5000万円
テレビ組合施設撤去費補助	5000万円
自主放送番組制作費	1億円
利用料減免補填	8000万円
ケーブルテレビ設置工事費	5000万円
CATVシステム機器更新	1億2000万円
計	5億5000万円

財源項目	金額
過疎債 ソフト部分 5000万円×6年間	3億円
一般会計 単独町費	2億円
IRU契約収入	3000万円
ケーブルテレビ利用者分担金	2000万円
計	5億5000万円

基金からの繰り入れは平成22年度から平成31年度までの10年間で予定。

動議による 修正案を可決！

条例一部改正

神石高原町高齢者生活福祉センター 設置及び管理一部改正条例に対する修正案

全会一致

神石高原町高齢者生活福祉センター（メルシーさんわ、陽光の里）の利用者負担額がその他の類似施設と比べて低く設定されているため、公平・公正の観点から改正する案。

* 条例施行日

平成23年4月1日→平成22年10月1日

* 平成22年9月30日までに施設を利用している者は、平成25年3月31日まで従前の施設利用者負担基準を適用する。

工事請負契約の締結

小島地区簡易水道（生活基盤近代化事業） 老朽管取替工事（第2工区）

工事場所	神石高原町小島・上 地内
請負金額	1億258万5000円
請負者	
住所	広島市中区小町3番25号
氏名	扶桑建設工業(株)・安田工業(株) 小島地区簡水建設工事共同企業体 扶桑建設工業株式会社中国支店 常務取締役支店長 山本秀樹
工期	平成22年9月23日～平成23年3月1日



IRU契約

自治体が所有している光ファイバを電気通信事業者に貸し出す際の契約

本年6月、7月の

豪雨災害復旧を推進！ 「かがやきネット」運営基金を造成！

一般会計 歳入歳出補正予算額 **9億603万円** 補正後予算額 **119億485万円**

(万円未満四捨五入)

費目	補正額	補正後予算額	主な内容
総務費	4963万円	15億5808万円	CATVの公共施設宅内配線・電柱共架料・NHK共聴施設買い取り他3945万円、源流の里商品開発・需要動向調査他738万円他
民生費	1810万円	16億9836万円	父子家庭への児童扶養手当356万円、生活保護費1040万円、介護保健特別会計繰出経費2036万円他
衛生費	239万円	9億7049万円	日本脳炎予防ワクチン接種54万円、保健福祉センター会議室70万円、し尿処理場にかかる小田川の土砂除去130万円他
農林水産費	2608万円	9億4055万円	地域営農147万円、園芸施設732万円、さんわ182ステーション空調修繕595万円、口蹄疫防止対策109万円、松枯れ伐倒駆除187万円、小規模崩壊地復旧工事740万円他
商工費	1535万円	1億909万円	仙養ヶ原グラウンドのトイレ改修・「エスカ」トイレ簡易水洗化1461万円他
土木費	4525万円	5億9175万円	豪雨災害町道維持・補修2500万円、周回道路他整備2025万円
災害復旧費	4億3782万円	4億9814万円	6・7月豪雨災害復旧、農地48件・農業用施設62件・林道4件・道路46カ所、河川災害12カ所
消防費	42万円	4億1543万円	消防屯所管理経費17万円、山崩れ予知施設25万円
教育費	341万円	17億8233万円	油木中学校給食施設修繕等43万円、油木コミュニティーセンター暖房修繕45万円、ピッチングマシン・カローリングセット購入139万円
諸支出金	3億758万円	9億1673万円	財政調整基金積立1億円、かがやきネット基金2億428万円
合計	9億603万円	119億485万円	

平成22年度特別会計・病院事業会計補正予算

(万円未満四捨五入)

会計名	平成22年度	
	9月補正	合計
国民健康保険特別会計	891万円	11億8165万円
後期高齢者医療特別会計		4億6570万円
老人保健特別会計		1044万円
介護保険特別会計	311万円	18億8301万円
簡易水道事業特別会計	590万円	3億7352万円
飲料水供給施設事業特別会計	22万円	4191万円
農業集落排水事業特別会計	69万円	2億5021万円
分収育林事業特別会計		10万円
総合開発事業特別会計	180万円	2520万円
特別会計計	2063万円	42億3174万円
病院事業会計		1億7610万円

歳入では、「普通交付税」3億3966万8千円、国からの「自立活性化推進交付金」など2300万円、「公共土木施設災害復旧費補助金」1億5990万円、県から「農地・農業施設、林道施設災害復旧費補助金」1億830万9千円、「町債」1億6250万円などが増額補正されました。

特別会計では、介護保険特別会計において、第5期高齢者プラン策定費に232万4千円、簡易水道特別会計において、小畠地区施設緊急修繕費などに533万9千円、総合開発事業特別会計において、団地造成木屑処理費に180万円などが追加補正されています。

補正予算の財源は

補正予算質疑

まちづくり推進課

ある。

木野山議員 道の駅

実証実験事業の業務委託先は。

理事 委託先は中国地方の道の駅事務局である地域作り交流センター。内容はパッケージ化などで既存のものはない。産品は源流の里の資源を活用。詳細は今後詰める。

CATV宅内工事は

木野山議員 CAT

V事業で公の施設の宅内工事の発注は。

理事 エリアごとに町内電気業者に発注する。単価契約で行いたい。

木野山議員 NHK

共聴施設で光化した3施設の買い受け条件は同じか。

理事 12月1日現在の価格で町が買取るが、積算の根拠・考え方は同じで

寄定議員 情報通信

基盤整備事業の3945万円の詳細は。

理事 182公共施設の内部配線改修工事費と光伝送路敷設の電柱（NTT500本、中電6865本、ルート変更50本、家庭引込5500本、NHK専用11万本、自営柱500本）とNHK共聴施設を光化した3施設の買い取り費用である。

小林議員 公共施設

の屋内工事予算約4000万円の予定工事施設数と、屋内設備の内容は。指定避難所は公共施設に含むのか。

理事 町内182施設を予定している。主たる避難所には設置する。指定管理施設は31自治振興会の29施設に屋外ONUまでの工事と、屋内情報告知端末工事を町が

行う。

避難所では、通常、テレビを見ないことが想定され、情報ONUと通信ONUが配線されているので、テレビに接続し、センターから利用開始のスイッチオンをすれば、見れる状態になる。

かがやきネット管理運営に基金を積立て

木野山議員 かがやきネット管理運営基金の経費の積算根拠を。

理事 既設の撤去費・テレビ組合などの施設の撤去費補助費・自主放送番組制作費・利用料減免補填部分・ケーブルテレビ設置工事費・CATVシステム機器更新で5億5000万円。財源は、過疎債ソフト分積立一般会計単独分・IRU契約収入分・ケーブルテレビ利用者分担金で合計5億5000万円。基金からの繰入れは平成22年度から31年度まで10年間。積立期間は6年間。一般財源との区分を明確化するため。

福祉課

父子家庭への児童扶養手当

寄定議員 8月から

父子家庭への児童扶養手当が支給されることとなったが、申請はいつまで出来るのか。
また、受給条件は。

福祉課長 4・8・12月の年3回支給。12月支給は11月末まで申請対象とする。母子家庭の条件と同じである。

産業課

寄定議員

さんわ182ステーション空調修繕工事費595万円は高額であるがどこを修理するのか。

産業課長 オープンから16年が経過し、いつ壊れてもよい状況にある。自動ドアの所の部屋と食堂の空調設備を修繕する。



神石踊り娘隊全国「やさこい祭」に参加（高知市）



ONUについて

「ONU」とは、軒下などに設置され、光信号を電気信号に変換する装置のこと。

まちの事業を総点検

議会常任委員会

報告

総務文教 常任委員会

調査目的

平成21年度主要事業効果と平成22年度主要事業の進捗状況

調査月日

7月27、28日

調査場所(第1日目)

○まちづくり推進課

- ① 過疎計画策定状況 ② 定任促進対策事業進捗状況 ③ 源流の里維持・再生事業の進捗状況及び事業効果 ④ ふるさとふれあい事業の事業効果 ⑤ 井関総合開発事業の販売など進捗状況

○福祉課

- ① 障害者就労支援強化事業の実施状況

○保健課

- ① 成人保健事業の実施状況

- ② 居宅介護サービス給付事業の実施状況

○財政課

- ① 財政状況

- ② 遊休財産(土地・建物)の利活用及び処分状況

○総務課

調査目的

生活交通確保事業の進捗状況及び利用状況

調査月日

7月27、28日

調査場所(第2日目)

○まちづくり推進課(現地調査)

- * ふるさとふれあい事業
- ① 上ボランティアの会(三和地区・収集保管庫、憩いの場整備)
- ② 仙養ヶ原観光開発組合(グランド芝生化)

○財政課(現地調査)

- * 遊休財産(土地・建物)の現地調査
- ① 旧来見中学校(三和地区、井関)
- ② 旧NTT住宅(油木地区、市場)
- ③ 新平谷住宅未建設(豊松地区、上豊松)

○特別現地調査

- * 7月集中豪雨による大規模地滑り被害状況の現地調査
- 油木地区(仙養東自治振興会、忠原班)

○教育課

- * (教育委員会と校長会合同での意見交換)
- ① 児童生徒送迎対策事業(スクールバス運行)
- ② 公民館運営状況など
- ③ 教養の町読書推進事業の進捗状況

調査目的

平成21年度事業成果と平成22年度事業の進捗状況について

調査月日

8月10、11日

調査場所

- ① 町内の雇用・景気動向聴取調査(住民課)
- ② 内田鉄工建設(株)
- ③ 県道 三和油木線
- ④ 町道 時安線 米見山線、仁後線
- ⑤ 林道 宇手迫線
- ⑥ 県宮宮谷川総合流域防災工事
- ⑦ 農事組合法人 桑木・牧・黄金の里・レインボーファーム神石高原

学校現場における諸課題
* 通学バス運行状況は、業者の車両と町有車両の委託での違いがある
* 油木高等学校通学方法の集計で、32名が自家用車での送迎

産業建設 常任委員会

調査目的

平成21年度事業成果と平成22年度事業の進捗状況について

農事組合法人の経営状況と6月・7月発生の豪雨災害を現地調査

調査月日 8月10、11日

調査場所

- ① 町内の雇用・景気動向聴取調査(住民課)
- ② 内田鉄工建設(株)
- ③ 県道 三和油木線
- ④ 町道 時安線 米見山線、仁後線
- ⑤ 林道 宇手迫線
- ⑥ 県宮宮谷川総合流域防災工事
- ⑦ 農事組合法人 桑木・牧・黄金の里・レインボーファーム神石高原

- ⑧ 間伐事業米見山、相渡
- ⑨ クリーンセンターじんせき(大型破砕機)
- ⑩ 和牛の里
- ⑪ 太陽光発電設置状況
- ⑫ 豪雨災害調査
- * 仙養東自治振興会忠原班地滑り災害
- * 町道 森河内線
- * 林道 間谷仁後線

調査結果

① 景気低迷や公共工事の減少は、本町の経済や若者定住にも大きな影響をおよぼしている。雇用の確保が課題である。

② 道路改良なども、予算確保と早期の完成による事業効果がのぞまれる。

③ 農事組合法人も、若いリーダーや後継者の育成が課題となっている。

④ 本町の森林も木材価格の低迷や高齢化で、手入れの出来ない山林が多い。間伐の推進が必要。

⑤ 太陽光発電は推進すべきだ。

⑥ 本年は多くの豪雨災害が発生した。仙養東地域の地滑りは規模も大きく、甚大な被害が出ている。被害者への生活再建の支援や、地滑りへの早急な対策が必要である。



「高原の里牧」ぶどう園視察

議会中継に向けて

ケーブルテレビ自主番組制作のために

神石高原町議会中継等
自主製作番組放送推進
特別委員会報告

- 特別委員会開催経過
第1回
平成22年7月5日
- ①特別委員会の活動計画
- ②議会中継のあり方
第2回
平成22年8月3日
- ①(株)ケーブルジョイ(府中市)現地調査
- ②議会中継のあり方
- 議会中継は「生放送」と「録画放送」併用。
- 本会議のうち、一般質問だけをコミュニティーチャンネルで放送。
- ハイビジョンカメラ3台とマイク設備など新たに整備する。
- 放送は未編集が原則であるが、放送上の制約の範囲で必要最小限の編集をする。
- 発言者及び答弁者の役職・氏名と発言趣旨を画面上にテロップ表示する。

トップセミナーへ参加

地域医療の課題は

「トップマネージメントセミナー」

「国際アカデミー」

(滋賀県大津市)

日時

8月19～20日

参加者

松本副議長・片山議員・

上山副町長

「地域医療の課題と方向性(こいつ)」

自治医科大学

医療学センター長

梶井英治氏

○医師不足により、医療の質の確保が困難、サービスの低下を起し、その結果患者の不安や不満が増大している。

○高齢化社会、疾病構造の変化。複合化が進んでいる。治す医療から、健康増進、予防・ケアに重点を置くことが必要。

○地域医療の確保・充実の方向性は、かかりつけ医(総合医の育成)の定着。住民への普及啓発が必要。

○医療費の高騰について効率的な医療体制の見直し、質の高いプライマリ・ケア体制の整備。

○医療機関の機能分担。連携について

地域と言う枠組みの再構築、県を挙げての地域医療体制の構築が必要。

○講演の後、グループディスカッションが行われ、「神石高原町」を想定自治体として、町立病院のアクションプランを討議した。

自治体予算を考える

「自治体予算を考える緊急・臨時セミナー」

場所

「全国市町村国際文化研修所」(滋賀県大津市)

日時

平成22年8月20～21日

参加者

村上議員

*20日

「自治体予算の原則」

*21日

「歳入予算の基礎とそ
のチエックポイント」

地方公共団体

金融機構室前部長

木幡 治氏

「自治体財政の全体的ルール」・「自治体の歳入」・「自治体の歳出」・「財政診断」・「これからの財政運営」などで地方財政制度、公会計制度、行政評価システムなど様々な行政テーマについて充実した研修であった。



湯崎知事の宝探し

追跡 ありやあどうなった？

今はどうなっているか？追跡しました

進捗状況

現在8人の方が認定されています。8人とも現在は農業の各分野にわたり研修・技術取得が中心となっています。

新規就農支援後には神石高原町に新たな認定農業者が誕生予定です。

今後多くの若い人が農業に従事していただきたいものです。

新規就農者支援事業が

平成21年度よりスタート

新規就農者一覧

(平成22年9月30日現在)

油木地区	新規就農者	2名(男1名、30歳代と40歳代)
	交付開始日	平成21年7月～(2名)
	主要作物	野菜、ブルーベリー、水稲、ぶどう
神石地区	新規就農者	3名(男3名、30歳代2名と20歳代1名)
	交付開始日	平成21年7月～(1名)、平成22年4月～(1名)、平成22年5月～(1名)
	主要作物	野菜、水稲、畜産(和牛)
豊松地区	新規就農者	3名(男2名、20歳代と30歳代、女性1名、20歳代)
	交付開始日	平成21年7月～(2名)、平成22年4月～(1名)
	主要作物	野菜(トマト等)、水稲

元気に頑張る新規就農者のみなさん (順次ご紹介いたします)



大迫哲也さん(油木)



永井進悟さん(豊松)



伊勢村徹さん(神石)

新規就農者支援事業とは

〈新規就農者とは〉

①農業以外の仕事に従事していた者で、新たに就農した者

②就学していた者で、新たに就農した者

③集落法人等に雇用され、新たに農業労働を行う者

〈支援金額は〉

支援金は、認定のあった日の翌日から支給する

最初の一年 十万円/月

二年目の一年 七万円/月

ただし、支援金返還条件あり

〈条件は〉

①認定された後引き続き10年以上就農出来る者

②個人申請の場合、就農5年後の目標農業所得350万円以上の営農計画書提出

③農業法人等の場合、採用又は研修雇用が明確にした営農計画書提出

④町内に在住し、申請時に18歳以上50歳以下の者

議

員

発

議



国や県に

意見書を

提出しました

地方財政の充実・強化を求め
る意見書

提出者…松本彰夫
賛成者…村上克朗

全会一致

平成22年度の地方財政予
算全体の安定的確保に向
け、政府に早急な対策を求
める。

1. 平成22年度地方財政計
画・地方交付税総額を確
保すること

2. 国・地方の税収配分5
対5を実現する税源移
譲、地方消費税の充実

3. 地域活性化・雇用等臨
時特例費など恒久的に取
り入れ雇用対策の環境整
備を行うこと

4. 景気対策で拡大する公
共事業の地方負担を増加
させないよう財政措置を
講じること

全会一致

子宮頸がんの予防措置実施の
推進を求める意見書

提出者…寄定秀幸
賛成者…小川清治

政府はワクチン接種と予
防検診により、子宮頸がん
の発症を防ぐための措置を
実施されること。

1. 子宮頸がん予防ワクチ
ン接種実施の推進

2. 子宮頸がん予防検診
(細胞診・HPV検査)
実施の推進

3. 子宮頸がん及び子宮頸
がんの予防に関する正し
い知識の普及、相談体制
の整備



油木中学校体育祭

神石高原町地域医療を
見守る特別委員会から
のお知らせ

神石高原町の医療を考える集いの案内

全国的な医師不足の中、町立病院
の永続的かつ安定的な運営を図り、
住民の健康と安心を守るため、真に
住民が望む病院として、これから
の「神石高原町立病院のあり方」を
考えることを目的とし、「神石高原
町の医療を考える集い」を開催しま
す。

開催日時

平成23年1月21日(金)16時から

会場

三和の森リゾート&
カンファレンスセンター

ぜひ、
ご参加を!

あなたの声を町政に

一般質問は、一人30分
一問一答方式で行いました

問 教員配置の充足を

松本彰夫議員



答 県教育委員会に要望している

Q 中学校の技術教員は平成21年度から町内で1名しか配置されていない。その教員が病休をとった時は、非常勤講師が4校兼務という異常な状況が続き、豊松中と油木中は、選択技術が途中から中止となっている。このことによる授業への影響と今後の対応策は。

A 教育長 技術教員の配置は質問のとおりである。9月からは、本務者1名、非常勤講師1名の2名体制で行っている。県教育委員会に要望しているが、県内の技術教員の本務者は少なく、定数内の臨時教員の配置は避けられない。欠員の時は、管理職や、他の科目の教員が対応

し、時間割の変更をしながら行ったが、生徒にも迷惑をかけた。**Q** 異常な状態と思うが、教員の確保はどのように取り組むのか。**A** 教育長 県が中心となり、町が協力して取り組んでいる。ハローワークにも申し込み、人材確保に努力しているが、県の定数が定められているので難し

い。引き続き要望する。**Q** 教職員の健康管理に向け、衛生委員会の衛生推進者の設置とその活動状況は。**A** 教育長 衛生推進者を全校に配置している。21年度は衛生委員会は10回行っている。定例化の推進を図る。



「だんご汁」を食べ戦中をしのぶ三和中生徒 (H22.8.6)

問 小学校統合の見直しを

片山元八郎議員



答 現時点では見直す考えはない

Q 来見小学校の保護者から「統合三和小学へ行かせたい。」という切実な相談が2件あった。児童の送迎は、保護者が責任を持つということ、通学区特例を設けてどうか。**A** 教育長 学区外通学が認められるのは①地理的事由②身体的事由③「いじめ」

の被害防止などに限定される。**Q** 井関定住団地の予約状況と就学前幼児・小学校児童の実態把握は。**A** 教育長 現在、14区画、30名の入居予定と聞いている。こどもは8人で、0歳から5歳までが6人。6歳から12歳までが2人と聞いている。

Q 教育委員会体制も一新された。学区外特例、来見小の統合三和小学への早期編入を考えると。**A** 教育長 教育委員会会議でどちらもその考えはないことを確認した。**Q** 平成23年度、来見小学校の学級編制はどうなるのか。**A** 教育長 職員適正化計画に基

づく、現行体制となった。町長部局とも協議する。**Q** 役場職員で、社会教育主事の資格保持者は何人か。**A** 教育長 9人だ。**Q** 9人を適材適所に配置し、生涯学習の振興を図るべきでは。**A** 教育長 町長部局に要望する。

式学級である。**Q** かつて、文部省時代に、生涯学習局は筆頭局だった。本町も合併当初は、学校教育課・生涯学習課の二課体制であった。生涯学習課を復活すべきでは。**A** 教育長 職員適正化計画に基

問 学校の猛暑対策を早急に実施すべきでは

寄定秀幸議員



答 エアコン・扇風機を計画的に整備をする

Q 歴史的猛暑の中、授業を受ける児童・生徒の健康が心配された。エアコン導入・扇風機設置など、学校の猛暑対策を早急に実施すべきだ。

A 教育長
教室への扇風機設置・保健室のエアコン導入も含め計画的に整備をしていきたい。

Q 広島大学考古学研究群の発掘調査は、大風呂洞窟岩陰遺跡で継続実施されている。考古学的に

Q 大変貴重な遺跡群であり、保護・調査・公開などが重要である。

A 教育長
①発掘調査に対する今後の取り組みは。
②リニューアルされた歴史民俗資料館の周知を図り、有効活用すべきでは。
③帝釈峡遺跡群発掘調査50年の記念行事を企画・提案、実施すべきでは。

Q 周知に取り組んできた。今後も発掘調査の継続とともに活性化に繋がられるよう取り組みたい。

A 教育長
①発掘調査費の支援と併せ、出土品の展示や発掘体験教室・現地説明会の開催など調査結果の

Q 観光資源として、町の活性化のため積極的に活用すべきでは。

A 副町長
観音堂洞窟遺跡の発掘調査に携わった経験もあり、貴重な遺跡であると認識している。下帝釈峡石灰岩地域の自然の織りなす景観と併せてPRに努め、町の活性化に取り組みたい。



柏岩橋現地調査

問 学校ICT環境整備の入札に問題があるのでは

横尾正文議員



答 今後は適正に努める

Q 昨年の町立小中学校システム構築の入札に問題があるのではないのか。

A 教育長
またなゼソフトを指定したのか。

Q 数社からデモンストレーションを行って面白い、審査の結果評価の高いソフトを選定した。また情報センターとやり取りできるソフトである。

Q 旧システム構築をした業者Aに新システムの計画書と見積書を依

Q 頼し、その内容で仕切金額が決定し、その結果その業者Aの協力業者Bが落札しているが、問題はないのか。

A 教育長
国の地域活性化経済対策臨時交付金を活用したため短期間の中で一定量の整備をする必要があった。また複雑多様な環境整備をおこなっている。

Q そこで全ての環境に精通し、また入札に直接参加しない町外の業者に参

Q 考として計画書の作成協力をお願いした。

Q このソフトはパッケージとのことだが、一番問題なことは、参考の計画書を作成した業者Aが、指定ソフトを発売したメーカーの代理店であり、前にも言ったが、落札業者Bはこの業者Aの協力業者である。つまりこの業者A主導で入札が行われているのではないかということである。

A 教育長
機器のいいものを選定するという段階を踏まえて行っているので、適切である。

Q この業者Aに問い合わせたことが間違いである。

Q わせたことが間違いである。

Q 別の方法としては、県のICTコーディネイターに問い合わせるか、他の市町村を調査してみるとかできないのか。

A また業者同士が組む可能性のある情報は、出さない方がいいのではないのか。

Q のか。

A さらに、「コンピューターシステムは更新時期が決まっているので、前もって調査すべきでは。

A 教育長
今後は、調査を十分行って、より適正な入札業務に努めていく。

Q こういった入札の事実を知っていたのか。

A 教育長
把握していなかった。

クイズの回答とともに 寄せられた

“まちの声”

○「元気なグループ紹介」のコーナーで知っ

○「住むなら神石高原町！」といわれるすばらしい町にしていきたい。住民の代表として“声”をとどけて下さい。議会に期待しています。(33歳・女性)

○ぼくも、議会を見てみたいです。(7歳・男性)

○空家が多く、草と木が大きく通行に困難の場所があります。どうにかして下さい。(66歳・女性)

た方々をみると、私もがんばらねば！とパワーをもらいます。(56歳・女性)

○町議会の事などむずかしいと思っておりますが、読んでみると老人でも分かるし、ず

○「夫婦別姓制度の導入に反対する。永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する。」どれも導入しないことを強く要望します。(60歳・女性)

いぶん勉強になります。時代にまけないようとりくみたいですね。(86歳・女性)

○議員の皆さん、なに

○林道貝原線について、維持管理の徹底を要望します。(86歳・男性)

かと思いがらがんばってください。また議会広報を読んでも主人も楽しみに見えています。(60歳・女性)

○内容、細部に渡り紹介して下さい、読むのが楽しみです。特に、ありやど

問 全国学力テストの結果は



木野山孝志議員

答 小・中ともに国の平均を上回った

Q 平成22年度全国学力テストの結果は。
A 教育長
小学校では国語のA問題が県平均を0.1ポイント下回ったのみで国語B算数A・B問題ともに国・県平均を上回っている。
中学校では全て国・県平均を上回っている。基本基本事項は小・中学校ともに概ね定着した。
課題は、活用の問題、小学生の「自己肯定感」の部分が県の平均を下

回っていることだ。
Q 小学生の段階で、将来の夢を持つという部分が3年間連続で不足しているというのは問題だ。今後の対策など教育のあり方は。
A 教育長
読書活動の推進により読解力が着いてきた。地域の協力を得るなどして地域内または学校内での体験活動など充実させたい。そうする事で自己肯定感を醸成する事に繋がる。学力だけでなく豊

かな心や健やかな体というバランスのとれた育成が教育の基本だ。それに向けた取組みを充実させる。
Q 学力も着いてきたが本当の基礎基本の教育が必要だ。これは芸術や歴史を知ることと密接な関連がある。生涯学習を含め地域を挙げた取組みに力を入れて欲しい。
A 教育長
神楽は郷土芸能の継承や郷土を愛する心に繋がる。保・幼・小中

高の連携の取組みなど家庭・学校・地域で一体的に子どもを育てていく。



入場行進 油木小学校・保育所合同運動会

いっそう、連携を深めてまいりたい。

なった記事、忘れていても楽しみます。なつかしい人のお姿も写真入りで出ており、元気なお姿を拜見して嬉しくなります。
(73歳・女性)

○この前の大雨の時、毎日歩いている道路が

一面に水が流れていました。草刈の時、ついでに「みぞ」をあげてあげれば良いと思う。
(75歳・女性)

○最近感じた事です
が、後期高齢者制度で我家では3名が当てはまりますが、色々な

仕組みが家族をバラバラにした様な気がします。年金が少なく払えない状態なのに支払わされて、よく理解できません。私だけでしょか？
(77歳・男性)

○議会だよりを読むと
いろんなことがわかり

勉強になります。有難いことです。家の前の石じやまになることはありませんが、取ってもらえばうれい
です。
(78歳・女性)

○毎回、楽しみに一般
質問を拜見させて頂いて
おります。
(54歳・女性)

より読みやすい 議会広報誌をめざして

第72回町村議会広報研修会に

「議会広報広聴調査特別委員会」を代表し、寄定副委員長が出席しました。

研修目的

議会活動を住民により身近なものとして分かりやすく伝えるため「みんなの町議会」の編集方法を研修。

研修年月日

平成22年8月25～26日

研修場所

砂防会館別館(東京都平河町)

研修内容

8月25日(第1日目)

3人の講師による講演が行われました。

①「分かりやすい文章表現・表記とは」

武庫川女子大学文学部教授 佐竹 秀雄氏

②「読まれる広報誌の作り方・情報社会のコミュニケーション」

株宣伝会議 取締役編集室長 田中 理紗氏

③「ネットPR発想で考える自治体ホームページの活用方法」

株ニューズ・ツー・ユー 代表取締役社長 神原 弥奈子氏

8月26日(第2日目)

④「議会広報クリニック」

エディター・城市 創 事務所代表 城市 創氏

○神石高原町議会広報紙「みんなの町議会」は、表紙の写真や文章のまとめ方、議会クイズ、元気なグループ紹介会など高評価をいただきました。

また、注意する点など具体的なアドバイスが大いに参考となりました。

今回の研修で学んだことを生かし、より多くの方に読んでいただけるよう議会広報の編集・作成に取り組みます。



神原弥奈子先生の講演

第6回 議会クイズ 解答

- ① 増額
- ② 議会中継
- ③ バイパス
- ④ 万全
- ⑤ まき

ご応募頂きありがとうございました。正解者多数により抽選の結果、次の方々が当選され、1,000円分のやまなみ商品券をお贈りしました。

第6回クイズ当選者

豊松地区 大坂 忠樹さん 神石地区 北 エリさん
油木地区 横川シマ枝さん 三和地区 川崎 博文さん
油木地区 池田 洋子さん
(順不同)



山菜倶楽部講演会

元気なグループ紹介



なかよしグラウンドゴルフの会

豊松ドンダリーズ

私達の住んでる笹尾振興会は、高齢化率も高く、お一人で生活されてる方も大変多くおられます。昔は、この地域にも小学校があり、多くの子どもたちの元気な声が聞こえ活気に満ちていましたが、時代とともに廃校となり校舎も取り壊されました。

跡地利用としてグラウンドゴルフ場が整備され、グループで毎日のようにグラウンドゴルフを楽しむようになりました。10年前には第1回中国新聞杯に笹尾ドンダリーズのチーム名で参加したところ、なんとブロンク優勝しました。ますますグラウンドゴルフに熱が入り週3日を基本とし練習に取り組むようになりました。合併時にチーム名を「豊松ドンダリーズ」と改め今日に至っています。皆さんも大変上達し、いろいろな大会にも参加し上位に入賞することも度々あるようになりました。

これから健康に留意して、親睦を深め合い、いつまでも年齢を忘れてグラウンドゴルフを楽しみたいと思います。



第7回 議会クイズ

《クイズ》

空欄に適切な言葉を入れてください。

- ① 全会計を〇〇で繰越
- ② 条例一部改定 神石高原町〇〇〇〇ネット管理運営基金条例
- ③ ありやあどうなった。〇〇就農者支援事業
- ④ 一般質問 全国学力〇〇〇の結果は。
- ⑤ 元気なグループ紹介 〇〇ドンダリーズの会

《ヒント》

議会広報を良く読めば解ります。

《応募方法》

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな・年齢)」を記入してください。

議会への要望・ご意見なども書いてください。「まちの声」で、出来るだけ紹介いたします。

正解者多数の場合は抽選で5名の方に1,000円分のやまなみ商品券をお送りいたします。

《あて先》

〒720-1522 神石高原町小島二〇二五

神石高原町議会事務局

「第7回議会クイズ係宛」

《締め切り》

11月8日(月) 消印有効

《個人情報取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および「まちの声」などの目的以外には利用いたしません。

編集後記

7月の豪雨により被災されました皆様にはお見舞い申し上げます。酷暑が過ぎ、残暑からいきなり朝晩肌寒い実りの秋がやってきました。

クマも山に餌がないのか例年の倍近い里山出没情報、サルやイノシシにまして危機感を抱きます。

9月末でCATV無料加入期間が終了し、加入申し込みは90%弱と高加入となりました。

全戸加入を目指し、さらなる加入を望みます。順調に工事が進み来春からの開局を皆さんと期待するものです。(小)



野に咲く彼岸花